

# クローズアップ。 日・光・人

日光市で活躍している人、サークルを紹介します。

## サークル



ボーイスカウトは健全な青少年の育成を目指した社会教育運動として、1907年にイギリスで始まり、今では、世界130か国、約2千8百万人もがこの活動に携わっています。

ボーイスカウト今市第2団は昭和39年、青少年の教育に関心と理解を持つ地域の方が中心となって設立されました。現在の団員数は200名で、一つの団に所属する人数としては日本でも5本の指に入る大きな団となっています。子どもたちの年齢に合わせた活動を行うため、年齢層を区切って5つ



日光殿堂案内協同組合に勤務し、二社一寺(東照宮、輪王寺、二荒山神社)などの案内をしている小平清崇さんを紹介いたします。

もともと歴史に興味があったという小平さん。案内人の仕事について「始めた当初はまだ案内の内容を覚えていないうちに仕事を任されることもあり大変でした。今年で22年目になりますが、今では口が勝手に動いてくれますよ」と、笑って話してくれました。

小平さんは、案内人として働く傍ら、日光で行われるさまざまなイベントをいち早く

ホームページで紹介する「オール・アバウト日光」という活動もしています。活動の一つとして、今年5月に和傘の個展を開催しました。個展の様子は、テレビや新聞など数々のメディアに取り上げられ、1,000名を超える方が来場しました。そして、最近まで力を入れていた活動は、「日光地ビール」のラベルデザインコンテストです。日光地ビール「朱」は、日光を宣伝するため市内にある10軒の酒店が協力して作った地ビールです。このビールは、神橋の修復が完了した3年前

## ボーイスカウト今市第2団

### 大人になったとき、ボーイスカウトで培った経験がきつと役立つことでしょう

のグループに分け、男女が一緒に活動しています。その主な内容は、キャンプ生活や野外料理の基本、応急処置の勉強や、手旗信号(旗を使って行う通信手段)やロープ結びの練習などさまざまです。春休みや夏休みには、子どもたちも「楽しみにしている」というキャンプを実際に行います。また、運動会やハイキングなどの催しも行っています。こうした活動を通して、子どもたちは自然を学び、友情や責任感、協調性をはぐくんできます。保護者の方も、子どもが団に入ったことで、「視野が広がった」、「たくましくなった」と話しています。

団委員長の吉原徳さんは、「ボーイスカウトは野外、そして自然が学びの



野外料理の様子。みんなで作ったカレーライスをおいしくいただきました

に作られたため、橋の欄干の色をイメージし、「朱」と名付けられました。「自分たちの力で日光を活性化させよう、という酒屋さんたちの思いに感動しました。そこで、私たちに何か協力できないかと思っただけです。ラベルデザインを募集すれば、多くの人たちにこのビールを知ってもらえるようになるのではないかと考え、コンテストの開催を決めました」と小平さん。このイベントも何度も新聞に取り上げられ、県内外からたくさんの応募があったそうです。

最後に、小平さんの今後の目標を聞きました。「観光に



熟成中の日光地ビール「朱」の入っているタンクを確認する小平さん。

おだいら きよたか  
**小平 清崇**  
さん

自分たちも楽しみながら、日光を盛り上げていきたい

稲荷町2丁目 在住

### 活動データ

主な活動日 土曜・日曜日(月に2、3回)  
主な活動場所 中央公民館 大谷川グリーンパークなど  
※活動日や場所は、活動内容によって異なります。  
団員数 200名  
団委員長 吉原 徳  
問い合わせ先 ボーイスカウト今市第2団事務局  
柴田 修 ☎(21)3267

### 紹介したい人、サークルを募集します

クローズアップ日・光・人では、日光市で活躍している人、サークルを紹介していきます。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。※広報にこの掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係  
☎(21)5135